

春とはいえ、花冷えする時期です。体調を崩さぬようお過ごしください。

平成27年4月10日発行

Bee通信

APRIL

Beeパートナーズ社労士事務所



喉は痛くないのに、声が出なくなりました。
1週間はちみつが離せなかったです♪

Beeの役目・役割



人間は老いるものであり、いつか死ぬものと分かっているのですが、いるはずの人が急にいなくなると、その事実を受け止めることすら、時間がかかるものです。

2月下旬、弊所顧問先企業の現役 代表取締役がお亡くなりになりました。64歳でした。直前まで普通に過ごされていましたから、御遺族始め社員の皆様と、誰もが驚いておりますし、もう一度お会いできたら、御本人が一番驚いていると言われるのではないかと想像しております。

中小企業の場合、役員や社員の中に御家族が含まれていることが多いのですが、この企業は社長様のみで、御家族には会社のことなど日頃から話されていないとのことでした。企業がどのように継承されていくか、この部分については少し時間がかかるのかもしれない。

御家族と会社にとって“大黒柱”が一本無くなったのは事実なのですが、時間が経過するにつれ、「お父さんだったら・・・」「社長だったら・・・」と、その方を感じ、想像して、行動に結びつけようとするお子さんや社員さん達を見ると、その方の生きざまを感じることが出来ます。

毎日何事も起きないことを人は良いとしますが、“大黒柱”がいなくなったことで、“大黒柱予備軍”が大黒柱にならなければという意識が芽生え、人が成長するタイミングにも繋がります。

今回のことで私の気づきもあります。会社がイレギュラーな状態となった際にも、外部機関だからこそ、冷静に優先順位をお伝えできる自信はあります。しかし、経営者の方から“ずっと大切にしていること”“この会社の魅力”“（自分がいなくなっても）未来、どのような姿を望んでいるか？”等をもっと深くお話できる時間があつたはず・・・と後悔しております。

誰もが老いるものであり、いつか死ぬものとわかっているのに、そこの話しを積極的に触れてはいけない感覚になっているのは、なぜでしょうか？ もっともっと潜在的にある思いも含め、見える状態にするのもBeeの役目・役割なのかと学ばせてもらいました。

また、Beeも例外ではありません。この世の中から社労士事務所が一つ無くなっても、日本という国に影響はありません。しかし、顧問先企業の大切な情報や業務を携わっている以上、“大黒柱”が一本よりも“大黒柱予備軍”でかつ“中黒柱”が何本もあることを目指しております。

もう会えないと思うと哀しくなります。しかし、数年前に他の顧問先で同様のことがあり、息子さんや娘さん、社員の皆様が一丸となって会社を継続している姿を拝見すると、立派に前に進んでいる力強さも感じます。

私達は会社から学ばせてもらったり気づかせてもらうことばかりです。その学びと気づきを必要とされる会社に提供できれば嬉しいと感じる今日この頃です。

吉岡規子



～お知らせ①～

**障害者雇用率制度
法定雇用率を大幅に下回ると、
全国に公表されます！**

厚生労働省は障害者の法定雇用率を大幅に下回っている企業に、採用計画作成を促し、実施状況を見ながら勧告・指導をしています。3年間に亘り、全国平均(1.76%)を下回った企業(8社)が先日公表されました。

ニュースや新聞に幾度も企業名を流され、真摯に向き合うことの大切さを知らされます。8社のうち東海地区3社が悩ましいです。

【公表企業】

- ・小売業のナイス(秋田県)
- ・婦人服など製造販売の恵山(渋谷区)
- ・情報サービス業ブリッジインターナショナル(世田谷区)
- ・開発設計アウトソーシングのプログレス・テクノロジーズ(江東区)
- ・100円ショップのセリア(岐阜県大垣市)
- ・メガネ小売の日本オプティカル(名古屋市)
- ・電気設備、資材卸売の扇港電機(四日市)
- ・冠婚葬祭業の日本セレモニー(山口県下関市)

～お知らせ②～

5月から馬場麻利が復帰します！

昨年2月中旬から、第一子出産・育児のために休業しておりました『馬場麻利』が、5月より職場復帰いたします。

“小規模事業所でも育児休業はできる！”を目指し、増員しないカタチでこの1年過ごしてきました。顧問先企業様には、行き届かなかった点も多々あったかと思えます。

日本の宝である“子供達”。顧問先企業様でも育児復帰を望んでいる女性社員が増えて来たよう感じます。

妊娠・出産・育児休業をどのように対応したらよいの？という疑問をお持ちの男性リーダーの皆様、いつでも御相談下さい！



お休み中は大変ご迷惑をおかけしました。4月より子どもが保育園に入園いたしました。(現在は慣らし保育中です。)

首もすわっていないかった我が子が、今ではひとりで立っています。一年でこんなに成長するんだと感動しております。私も子どもの成長に負けないよう頑張ります。

馬場麻利